

第46回日本産婦人科手術学会

会 長 加藤 友康 (国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科 科長)

テーマ 美しい手術

会 期 2023年9月30日(土)～10月1日(日)

会 場 国立がん研究センター研究所
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
TEL: 03-5651-7698

常務理事会・理事会

2023年9月29日(金) 16:00～18:00
日本外国特派員協会(FCCJ) Multipurpose Room
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 二重橋ビル5F
TEL: 03-3211-3161

総 会 2023年10月1日(日) 12:40～13:00
国立がん研究センター研究所 第1会場 [1F 講堂 (大会議室)]
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
TEL: 03-5651-7698

情報交換会 2023年9月30日(土) 18:30～20:30
銀座クラシックホール
〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-20 銀座ライオンビル6F
TEL: 03-3571-2590

お問合せ先 (総合事務局)

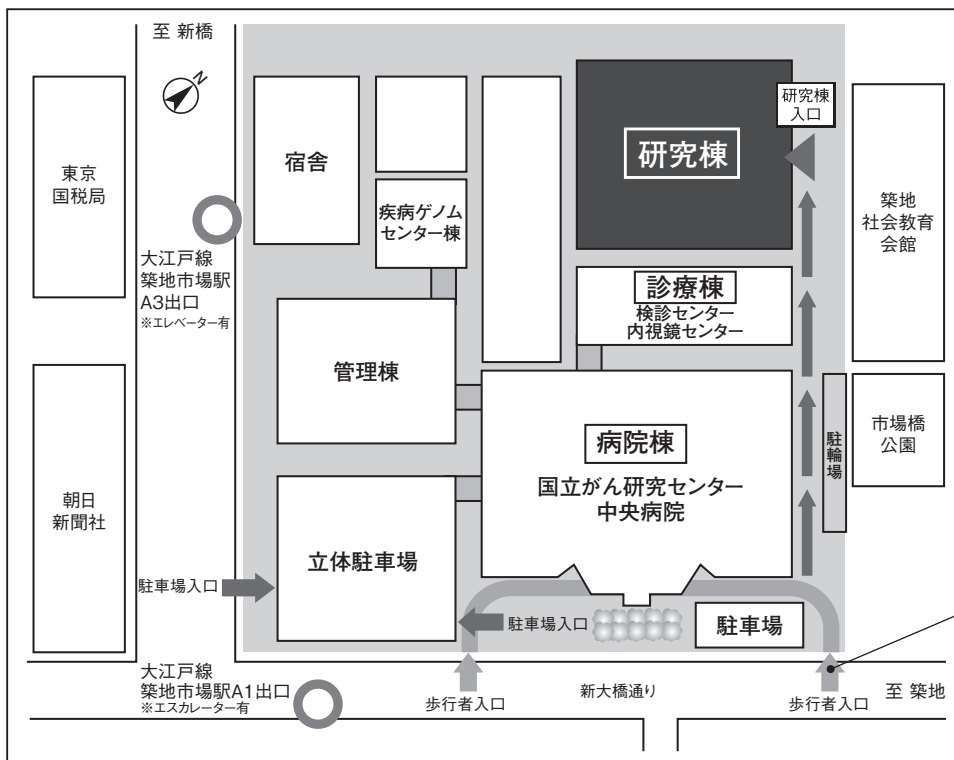
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-16-8 水天宮平和ビル5F
株式会社ジーエムジェイ
TEL: 03-5651-7698 / E-mail: jsgos46@g-marketing.co.jp

(運営事務局)

〒102-0083 東京都千代田区麴町4-7 麴町パークサイドビル402
株式会社 MA コンベンションコンサルティング
TEL: 03-5275-1191 / E-mail: jsgos46@macc.jp

会場案内図 / Floor Map

国立がん研究センター研究所 研究棟



地下鉄・メロ口

都営地下鉄 大江戸線
築地市場駅 A1 番出口から徒歩 3 分

東京メロ 日比谷線
築地駅 2 番出口から徒歩 5 分

東京メロ 日比谷線・
都営地下鉄 浅草線
東銀座駅 6 番出口から徒歩 6 分

東京メロ 有楽町線
新富町駅 4 番出口から徒歩 9 分

新大橋通り沿いの「歩行者入口」から、
病院棟、診療棟の外側をお進みいただき、
研究棟にお越しください。

矢印の箇所に入口がございます。

研究棟1F案内図



プログラム日程表 / Program at a Glance

9月30日(土) / September 30 (Sat.)		
第1会場 1F 講堂(大会議室)	第2会場 1F セミナールームA	第3会場 1F セミナールームB
8:50 ~ 9:00 開会の挨拶		
9:00 ~ 10:00 シンポジウム 1 [OD] [P(領域)] 「センチネルリンパ節生検 “合併症対策としてのセンチネルリンパ節生検”」 座長：新倉 仁 演者：新倉 仁、山上 亘、戸上 真一、田中 智人		
10:35 ~ 11:35 要望講演 1 [OD] [P(領域)] 「外科手術手技の臨床試験デザインと解釈」 座長：万代 昌紀 演者：水澤 純基	10:35 ~ 11:20 主題 1 「広汎子宮全摘」 主題 1-1 ~ 主題 1-3 座長：藤井多久磨	10:35 ~ 11:35 一般演題 1 「腹腔鏡」 O-1-1 ~ O-1-6 座長：松本 貴
	11:40 ~ 12:30 ランチョンセミナー 1-1 「助手ラパロを活かしたロボット手術の新たな提案 ~チームで行うロボット手術~」 座長：加藤 一喜 演者：廣瀬 佑輔、竹中 慎 共催：コヴィディエンジャパン株式会社	11:40 ~ 12:30 ランチョンセミナー 1-2 「PARP 時代の卵巣癌治療を考える」 座長：佐藤 豊実 演者：山田 秀和 共催：武田薬品工業株式会社
12:35 ~ 13:25 特別講演 1 [OD] 「ロボット手術」 座長：井坂 恵一 演者：森實 修一		
13:30 ~ 14:30 会長企画 1 [OD] 「Meet the New Professor」 座長：青木 大輔 演者：小林 栄仁、磯部 真倫、甲賀かをり	13:30 ~ 14:30 主題 2 「リンパ節郭清」 主題 2-1 ~ 主題 2-5 座長：渡利 英道	13:30 ~ 14:10 一般演題 2 「子宮頸癌」 O-2-1 ~ O-2-4 座長：田中 尚武
14:30 ~ 14:55 特別講演 2 [OD] 「8K 超高精細画像の医療への導入とその展開」 座長：加藤 友康 演者：千葉 敏雄		
15:00 ~ 16:00 シンポジウム 2 [OD] 「医療塾討論会：広汎子宮全摘 (Radical Hysterectomy) 手術解剖学の見解の相違について -広汎子宮全摘手術 (Radical Hysterectomy) の今後のあり方-」 塾長：藤井 信吾 モデレーター：関山健太郎、志岐 保彦 コメンテーター：矢吹 朗彦、櫻木 範明、平松 祐司、吉川 裕之、三上 幹男、藤井多久磨、加藤 友康、京 哲、平嶋 泰之、万代 昌紀、寺井 義人、田畑 務、松村 謙臣、馬場 長	15:00 ~ 16:30 パネルディスカッション 1 [OD] 「vNOTES を導入する際の諸問題」 座長：羽田 智則 演者：今西 俊明、上田 和、長船 綾子、神下 優、玉手 雅人	15:00 ~ 15:40 一般演題 3 「子宮筋腫」 O-3-1 ~ O-3-4 座長：楠本 知行
16:00 ~ 17:00 回答者：宇佐美知香、西田 正和、志岐 保彦、安彦 郁、松浦 基樹、矢吹 朗彦、関山健太郎、野村 秀高、近澤 研郎、櫻木 範明、武隈 宗孝、石川 光也、小林 栄仁	16:30 ~ 17:00 特別講演 3 [OD] 「ダビンチ SP (第4世代新型単孔式手術ロボット) の可能性と課題」 演者：安藤 正明 (ビデオ登壇)	15:45 ~ 16:15 一般演題 4 「性器脱」 O-4-1 ~ O-4-3 座長：古谷 健一
		16:20 ~ 16:50 一般演題 5 「教育」 O-5-1 ~ O-5-3 座長：浅田 弘法
	情報交換会 18:30 ~ 20:30 銀座クラシックホール (銀座ライオンビル 6F)	

[P]：日本専門医機構単位対象セッション、[OD]：後日オンデマンド配信対象セッション (ライブ配信はございません)

10月1日(日) / October 1 (Sun.)			
第1会場 1F 講堂(大会議室)	第2会場 1F セミナールームA	第3会場 1F セミナールームB	
9:00	9:00 ~ 10:40 シンポジウム 3 [会陰損傷・外陰癌・骨盤底] 座長：中田 真木 演者：菊地 範彦、高橋 知子、川野さりあ、 後藤 裕磨、中田 真木	9:00 ~ 9:50 会長企画 2 [他科に学ぶ] 座長：岡本 愛光 演者：伊藤 雅昭、伴 大輔	
10:00	9:50 ~ 10:40 会長企画 3 [傍大動脈リンパ節郭清に備えて] 座長：三上 幹男 演者：衣袋 健司、中原 嘉則	9:50 ~ 10:50 一般演題 7 [ロボット] O-7-1 ~ O-7-6 座長：馬場 長	
11:00	10:40 ~ 11:30 特別講演 4 [骨盤底の構造について：我々の教室の研究より] 座長：齋藤 豪 演者：秋田 恵一	11:00 ~ 11:20 一般演題 6 [分娩関連] O-6-1 ~ O-6-2 座長：菊地 範彦	10:55 ~ 11:35 一般演題 8 [卵巣癌] O-8-1 ~ O-8-4 座長：田畑 務
12:00	11:45 ~ 12:35 ランチョンセミナー 2-1 [美しい手術] 座長：大須賀 稯 演者：中村 浩敬、水主川 純 共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	11:45 ~ 12:35 ランチョンセミナー 2-2 [進行卵巣がん治療に関するトピックス ～卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌取扱い規約 改訂のポイントを含めて～] 座長：万代 昌紀 演者：安彦 郁 共催：アストラゼネカ株式会社	
13:00	12:40 ~ 13:00 総会		
14:00	13:10 ~ 14:10 要望講演 2 [がんところ～死を意識した患者と向き合う ために～] 座長：平松 祐司 演者：清水 研		
15:00	14:20 ~ 15:35 特別企画 [CST セッション] 座長：寺井 義人 演者：秋田 恵一、玉手 雅人、小松 宏彰、 近澤 研郎、宮本 真豪	14:20 ~ 15:20 パネルディスカッション 2 [今ある外科教育に立ちはだかる問題点—様々な立場からの検討—] 座長：藤原 聡枝、宇佐美知香 パネリスト：磯部 真倫、齋藤 和毅、志鎌あゆみ、 竹内 佳織、永易 洋子、古澤 啓子	14:20 ~ 15:20 一般演題 9 [合併症] O-9-1 ~ O-9-6 座長：寺尾 泰久
16:00	15:35 ~ 16:00 特別講演 5 [Latzko と岡林手術の再構築] 座長：加藤 友康 演者：矢吹 朗彦		
17:00	16:00 ~ 16:10 閉会の挨拶		
18:00			

[P]：日本専門医機構単位対象セッション、[OD]：後日オンデマンド配信対象セッション（ライブ配信はございません）

学会参加者へのお知らせ

I. 開催形態：現地開催＋一部セッションのみ後日オンデマンド配信

※ライブ配信はございません。

※後日オンデマンド配信対象セッションは別ページのプログラム日程表でご確認ください。

現地開催：2023年9月30日（土）～10月1日（日）

オンデマンド配信：

①日本専門医機構単付与期間

2023年10月13日（金）15：00～10月20日（金）15：00

②視聴のみの期間（日本専門医機構単付は付与されません）

2023年10月20日（金）15：00過ぎ～10月31日（火）18：00

II. 【現地開催】受付・参加費

1. 参加受付（国立がん研究センター研究所・研究棟1Fロビー）

2023年9月30日（土）8：20～17：30

2023年10月1日（日）8：30～15：30

※当日会場での現金・クレジットカード参加受付（参加費支払い）はございません。

必ず事前にオンライン参加登録をお済ませのうえご来場ください。

※日本産婦人科手術学会への入会手続きを現地で受け付けております。

2. 参加証は事前にはお送りいたしません。参加登録された方には確認メールをお送りしますので、メール内のQRコードを印刷して会場に持参いただくか、またはスマホ画面等で提示いただき、確認後、参加証をお渡しいたします。

※オンデマンド配信視聴にて参加の方は、オンデマンド視聴ページより参加証をご取得ください。

3. 会員以外の方もご参加いただけます。必ず事前にオンライン参加登録をお済ませのうえご来場ください。

4. 参加費

区分	参加費
会員・非会員	15,000円
メディカルスタッフ	3,000円
初期研修医・学生（※）	無料

※初期研修医・学生は、オンライン参加登録時に所定の身分証明書、学生証（PDF, JPG）が必要です。

5. プログラム・抄録集

今回冊子版はありません。PDF版のみとなります。

参加登録いただいた方には、メールにてPDF版プログラム・抄録集のダウンロードページをお知らせいたしますので、各自ダウンロードをお願いいたします。

※会場にWi-Fiはありませんので、事前にダウンロードしてからご来場ください。

6. 抄録集の演者の所属表記は、演題登録者本人のデータを基本としておりますが、一部調整させていただきましたのでご了承ください。
7. 学会、会長に許可を得ていない写真撮影・録画・録音は固くお断りいたします。
また、会場内では携帯電話、スマートフォンをマナーモードに設定してください。
8. クローク
会場の都合上、クロークはありませんので、ご了承ください。
9. ランチョンセミナー
ランチョンセミナーはチケット制ではありませんので、直接セミナー会場にお越しください。

Ⅲ. 【単位取得について】（日本産科婦人科学会／日本専門医機構／日本産婦人科医会）

(1) 日本産科婦人科学会専門医研修出席証明

現地参加の場合：参加証の発券で単位が取得できます。

Web参加の場合：日本専門医機構単位付与期間内にログインのうえ視聴した場合に、通常の学会参加と同様に、日本産科婦人科学会専門医研修出席証明（10点）および日本専門医機構学術集会参加単位（3単位）が取得できます。

*単位取得には、オンライン参加登録時に日本産科婦人科学会の会員番号入力が必要となりますのでご注意ください。

(2) 日本産婦人科医会研修参加証について

日本産婦人科医会研修参加証（医会シール）は、日本産婦人科医会会員の方に限り1枚発行申請が可能です。ご希望の方は、オンライン参加登録時に入力してください。後日郵送いたします。

Web参加の場合：日本専門医機構単位付与期間内にログインのうえ視聴した場合に、発行いたします。

(3) 日本専門医機構単位対象セッション

日時	セッション	単位
9月30日（土） 9：00～10：30	シンポジウム1 センチネルリンパ節生検 “合併症対策としてのセンチネルリンパ節生検”	産婦人科領域講習
9月30日（土） 10：35～11：35	要望講演1 外科手術主義の臨床試験デザインと解釈	産婦人科領域講習
10月1日（日） 9：00～10：40	シンポジウム3 会陰損傷・外陰癌・骨盤底	産婦人科領域講習
10月1日（日） 13：10～14：10	要望講演2 がんとところ～死を意識した患者と向き合うために～	共通講習 （医療倫理）
10月1日（日） 14：20～15：35	特別企画 CSTセッション	産婦人科領域講習

〈現地参加の方〉

日本専門医機構の認定講習は、各講習会場で対象セッション開始前に受付を開始します。開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが日本専門医機構単位は付与されませんのでご了承ください。また、原則途中退会は認められません。

※参加証に印字されたQRコードで登録をおこないます。

〈Web参加（オンデマンド配信）の方〉

単位付与期間内にWeb視聴した場合に、単位取得が可能となる予定です。

単位付与期間：2023年10月13日（金）15：00～10月20日（金）15：00

※単位付与期間内に最後まで視聴完了していない講演は単位取得が出来ませんのでご注意ください。

※視聴完了までお時間に余裕をお持ちください。

※参加証は、オンデマンド配信期間中に視聴ページにて取得可能でございます。配信期間終了後はダウンロード不可となりますので、必ず配信期間内にご自身でダウンロードください。

【共通講習について】

日本専門医機構の共通講習については、対象セッションを最後まで視聴し、設問回答（5問5択に80%以上正解すること）をもって単位を付与いたします。

※視聴だけでは、単位付与対象になりませんので、ご注意ください。

※設問は合格するまで何度でもご回答いただけます。

【産婦人科領域講習について】

対象セッションを最初から最後まで視聴していただくと、単位が付与されます。

IV. 座長の方へ

- ・座長受付はございません。
- ・ご担当のセッションの開始予定時刻の15分前までに、会場内次座長席に必ずご着席ください。
- ・プログラムの時間厳守での進行にご協力ください。

V. 口演演者の方へ

- ・演者受付はございませんが、参加受付終了後、セッション開始30分前までにPC受付でデータチェックをおこなってください。

■発表時間

- ・主 題：発表8分+質疑応答4分（合計12分）
- ・一般演題：発表7分+質疑応答3分（合計10分）
- ・そ の 他：事務局より個別にご連絡いたします。

■PC発表に際してのお願い

1. 発表方法に関しまして

(1) 発表形式はPC発表です。枚数の制限はありません。

スライドやビデオは使用できませんのでご注意ください。

(2) 会場へは、USBメモリ、PC本体、いずれかの形で発表データをお持ち込みください。

※Macご使用の方は、PCをご持参ください。

※動画ご使用の方も、PCをご持参ください。

※タブレットはご使用になれません。

- (3) セッション開始 30 分前までに PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。PC 持ち込みの方も、30 分前までに PC 受付にお越しください。
- (4) PowerPoint の「発表者ツール」機能はご使用いただけません。
- (5) PC 受付のパソコンは台数が限られております。PC 受付のパソコンを独占して長時間のデータ修正はご遠慮ください。学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正などは事前に済ませてから学会場へお越しください。

2. USB メモリにてデータをお持ち込みの方への注意事項

【発表データ作成】

- ・ OS：Windows のみ
- ・ メディア：USB メモリによるデータ持ち込みが可能です。
- ・ データ：Windows PowerPoint で作成してください。
- ・ 画面のサイズ：推奨サイズは 16：9 ですが、4：3 も可能です。

3. PC 本体を持ち込まれる方

- ・ 外部出力できる PC をご持参ください。
- ・ 会場に用意するケーブルコネクタの形は HDMI です。
- ・ 変換が必要な場合は、付属アダプターも各自でご用意ください。
- ・ 必ず AC アダプター（電源コード）をご持参ください。

4. 発表データ受付場所

国立がん研究センター研究所・研究棟 1F 参加受付そば

2023 年 9 月 30 日（土）8：20～18：00

2023 年 10 月 1 日（日）8：30～15：30

5. 利益相反（COI）について

すべての発表演題の筆頭演者は、発表の際にタイトルスライドの次のスライドにおいて利益相反（COI）の有無を開示してください。

※ COI 開示のためのスライド（PPT）はホームページ【演題募集・利益相反（COI）】ページよりダウンロードしてください。

プログラム

☐：日本専門医機構単位対象セッション

第1会場（1F 講堂（大会議室））

開会の挨拶

9月30日（土） 8:50～9:00

第1会場 1F 講堂（大会議室）

☐ シンポジウム 1

9月30日（土） 9:00～10:30

第1会場 1F 講堂（大会議室）

センチネルリンパ節生検 “合併症対策としてのセンチネルリンパ節生検”

座長：新倉 仁（独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 産婦人科）

SY1-1

合併症対策としてのセンチネルリンパ節生検の有用性

新倉 仁

（独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 産婦人科）

SY1-2

婦人科がんに対するセンチネルリンパ節ナビゲーション手術の保険収載への道のり

山上 亘

（慶應義塾大学 産婦人科）

SY1-3

合併症対策としての子宮頸・体癌センチネルノードナビゲーション手術

戸上 真一

（鹿児島大学 産科婦人科）

SY1-4

センチネルリンパ節生検 下肢リンパ浮腫を防ぐ

田中 智人

（大阪医科薬科大学 産婦人科）

☐ 要望講演 1

9月30日（土） 10:35～11:35

第1会場 1F 講堂（大会議室）

座長：万代 昌紀（京都大学大学院医学研究科 婦人科学産科学分野）

RL1

外科手術手技の臨床試験デザインと解釈

水澤 純基

（国立がん研究センター研究支援センター 生物統計部）

特別講演 1

9月30日(土) 12:35 ~ 13:25

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

ロボット手術

座長：井坂 恵一 (東京国際大塚病院 婦人科)

SL1

ロボット支援骨盤内リンパ節郭清術
-骨盤外科横断的コンセンサスと新規手術支援ロボットの経験から-
森實 修一、武中 篤
(鳥取大学医学部 器官制御外科学講座腎泌尿器学分野)

会長企画 1

9月30日(土) 13:30 ~ 14:30

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

Meet the New Professor

座長：青木 大輔 (赤坂山王メディカルセンター)

PP1-1

私と婦人科手術

小林 栄仁
(大分大学 産科婦人科学講座)

PP1-2

社会医学的視点から手術学会を盛り上げる

磯部 真倫
(岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻 生殖・発育医学講座 産科婦人科学)

PP1-3

獅膽鷹目行以女手

甲賀かをり
(千葉大学大学院 医学研究院生殖医学)

特別講演 2

9月30日(土) 14:30 ~ 14:55

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

座長：加藤 友康 (国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科)

SL2

8K超高精細画像の医療への導入とその展開

千葉 敏雄
(順天堂大学医学部/一般社団法人メディカル・イノベーション・コンソーシアム)

医療塾討論会: 広汎子宮全摘 (Radical Hysterectomy) 手術解剖学の見解の相違について
— 広汎子宮全摘手術 (Radical Hysterectomy) の今後のあり方 —

塾長: 藤井 信吾 (京都岡本記念病院)

SY2

— 手術学会における塾開催趣旨 —

モデレーター: 関山健太郎¹⁾、志岐 保彦²⁾

(北野病院 産婦人科¹⁾、大阪ろうさい病院 産婦人科²⁾)

コメンテーター: 矢吹 朗彦、櫻木 範明、平松 祐司、吉川 裕之、三上 幹男、
藤井多久磨、加藤 友康、京 哲、平嶋 泰之、万代 昌紀、
寺井 義人、田畑 務、松村 謙臣、馬場 長

回答者: 宇佐美知香、西田 正和、志岐 保彦、安彦 郁、松浦 基樹、
矢吹 朗彦、関山健太郎、野村 秀高、近澤 研郎、櫻木 範明、
武隈 宗孝、石川 光也、小林 栄仁

第2会場 (1F セミナールーム A)

主題 1

9月30日(土) 10:35～11:20

第2会場 1F セミナールーム A

広汎子宮全摘

座長：藤井多久磨 (藤田医科大学 婦人科学講座／藤田医科大学 岡崎医療センター)

主題1-1

腹腔鏡下広汎子宮全摘術における視野展開の工夫

小林 光紗、脇坂 昌平、織田 愛実、近藤 有紀、濱田 友里、
清水 由美、清水 陽彦、高木 偉博、小林 浩治、安達 博
(聖隷浜松病院 婦人科)

主題1-2

「美しい」広汎子宮全摘出術を目指して ～単摘から始まるコンセプト養成～

伏木 淳、野村 秀高、阿部 彰子、菅野 素子、青木 洋一、
根津 幸穂、尾身 牧子、谷川 輝美、岡本三四郎、温泉川真由、
金尾 祐之
(がん研有明病院)

主題1-3

子宮頸癌IA1に対する、MISでの筋膜外単純子宮全摘術

近澤 研郎、今井 賢、桑田 知之、今野 良
(自治医科大学附属さいたま医療センター)

ランチセミナー 1-1

9月30日(土) 11:40～12:30

第2会場 1F セミナールーム A

助手ラパロを活かしたロボット手術の新たな提案
～チームで行うロボット手術～

座長：加藤 一喜 (北里大学 婦人科)

廣瀬 佑輔
(昭和大学 産婦人科)

竹中 慎
(国立がん研究センター東病院 婦人科)

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

リンパ節郭清

座長：渡利 英道（北海道大学大学院医学研究院 産婦人科学教室）

主題2-1

腹腔鏡下PAN郭清の安全な導入～3つの難所とその対策～

大澤 奈月、近澤 研郎、今井 賢、藤森 玲、黄 弘吉、
一井 直樹、桑田 知之、今野 良
(自治医科大学附属さいたま医療センター)

主題2-2

子宮体癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術の導入と初期治療経験から得た術野展開の工夫

市川 鉄平^{1,2)}、小田嶋 俊^{1,3)}、大西 純貴^{1,3)}、小池 勇輝^{1,3)}、竹中 慎^{1,3)}、
田部 宏^{1,2)}、高倉 聡²⁾、岡本 愛光³⁾
(国立がん研究センター東病院¹⁾、獨協医科大学埼玉医療センター²⁾、東京慈恵会医科大学³⁾)

主題2-3

後腹膜アプローチによる鏡視下傍大動脈リンパ節郭清手技の経腹腔アプローチと比較した利点と欠点

浮田真沙世、森下 舞、矢崎 基紘、坂本 敬哉、喜多真梨子、
戸田 愛理、村越まどか、高橋小百合、辻 満、教 礼、
上林 翔大、小山瑠梨子、谷 洋彦、小阪 謙三
(静岡県立総合病院)

主題2-4

当科における傍大動脈リンパ節郭清手技(特に腫大節の摘出)—GoPro撮影にて

長野 浩明、一戸 晶元
(東京女子医科大学附属足立医療センター 産婦人科)

主題2-5

下大静脈の血流途絶をきたした数珠状腫大リンパ節郭清例

松岡 歩、楯 真一、錦見 恭子、大塚 聡代、甲賀かをり
(千葉大学 婦人科)

vNOTESを導入する際の諸問題

座長：羽田 智則（四谷メディカルキューブ 婦人科）

PD1-1

指導者不在でのvNOTES導入経験

今西 俊明、堀澤 信
(長野赤十字病院 産婦人科)

PD1-2

Hybrid-vNOTESによる子宮全摘出術の安全な導入

上田 和¹⁾、正古 悠一²⁾、富田 圭祐¹⁾、永吉 陽子¹⁾

(国際医療福祉大学三田病院 婦人科¹⁾、東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座²⁾)

PD1-3

vNOTES導入初期の経験から考える有用性と問題点

長船 綾子、鈴木 祐子、黒田 啓太、野畑 美咲、梅津 朋和

(医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 産婦人科)

PD1-4

vNOTESを導入する際の諸問題

神下 優

(佐賀県医療センター好生館 産婦人科)

PD1-5

vNOTES、船頭多くして船海に出るために

玉手 雅人、松浦 基樹、長尾沙智子、黒川 晶子、諸井 明仁、

秋元 太志、幅田周太郎、齋藤 豪

(札幌医科大学 産婦人科学講座)

特別講演 3 (ビデオ登壇)

9月30日(土) 16:30～17:00

第2会場 1F セミナールームA

SL3

ダビンチSP(第4世代新型単孔式手術ロボット)の可能性と課題

安藤 正明

(倉敷成人病センター)

第3会場 (1F セミナールーム B)

一般演題 1

9月30日(土) 10:35 ~ 11:35

第3会場 1F セミナールーム B

腹腔鏡

座長：松本 貴 (大阪中央病院 婦人科)

O-1-1

卵巣捻転に対し妊娠27週で腹腔鏡下卵巣捻転解除術を行った一例

高石 侑、増田 望穂、浅井 麻由、安堂有希子、佐藤 浩、
角井 和代

(兵庫県立尼崎総合医療センター 産婦人科)

O-1-2

腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術:鉗子巻き付け操作による工夫

白神 碧^{1,2)}、三木 通保¹⁾、吉村佳与子¹⁾、元山 貴仁¹⁾、畑山 裕生¹⁾、
前田振一郎¹⁾、荻野 敦子¹⁾、川口 雄亮¹⁾、山添紗恵子¹⁾、松林 彩¹⁾、
林 信孝¹⁾、田邊更衣子¹⁾、大竹 紀子¹⁾、青木 卓哉¹⁾、吉岡 信也²⁾
(神戸市立医療センター中央市民病院¹⁾、特定医療法人誠仁会 大久保病
院²⁾)

O-1-3

vNOTESによる子宮全摘術において臓器損傷を減らす工夫について

山内 敬子、渡邊 憲和、松川 淳、永瀬 智
(山形大学医学部 産婦人科)

O-1-4

仙骨前面に再発した子宮体癌に対し、腹腔鏡下にスペーサーを留置し、安全に放射線治療を遂行した1例

野村 秀高、河本 貴之、佛原 悠介、美坂 聡樹、吉満 輝行、
伏木 淳、菅野 素子、青木 洋一、阿部 彰子、根津 幸穂、
尾身 牧子、谷川 輝美、岡本三四郎、温泉川真由、金尾 祐之
(がん研究会有明病院 婦人科)

O-1-5

悪性腫瘍手術に特化した施設における腹腔鏡技術認定医取得に向けた取り組みと開腹手術との比較

加藤 真弓、三浦穂乃果、瀧川 若、小川 史子、川野さりあ、
小澤梨紗子、中原万里子、夏目 貴史、宇野 雅哉、棚瀬 康仁、
石川 光也
(国立がん研究センター中央病院)

O-1-6

vNOTESの可能性を広げる術式の研究

玉手 雅人、松浦 基樹、長尾沙智子、黒川 晶子、諸井 明仁、
秋元 太志、齋藤 豪
(札幌医科大学 産婦人科学講座)

PARP時代の卵巣癌治療を考える

座長：佐藤 豊実（筑波大学医学医療系 産科婦人科学）

山田 秀和
（宮城県立がんセンター）

共催：武田薬品工業株式会社

一般演題 2

9月30日(土) 13:30～14:10

第3会場 1F セミナールームB

子宮頸癌

座長：田中 尚武（千葉県がんセンター 婦人科）

O-2-1

当院でのYAGレーザーと電気メスのエンドカットモードによる円錐切除術における手術成績の比較

織田 愛実¹⁾、小林 光紗¹⁾、高橋 健太²⁾、清水 陽彦¹⁾、清水 由実¹⁾、
高木 偉博¹⁾、小林 浩治¹⁾、安達 博¹⁾
（聖隷浜松病院¹⁾、国保旭中央病院²⁾）

O-2-2

帝王切開後の膀胱癒着症例における腹式子宮全摘術時の美しい膀胱剥離

小川 史子、加藤 友康、三浦穂乃果、瀧川 若、川野さりあ、
小澤梨紗子、中原万里子、夏目 貴史、加藤 真弓、棚瀬 康仁、
宇野 雅哉、石川 光也
（国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科）

O-2-3

前後にもこだわる筋膜外単純子宮全摘出術

中原万里子、加藤 友康、三浦穂乃果、瀧川 若、小川 史子、
川野さりあ、小澤梨紗子、夏目 貴史、加藤 真弓、棚瀬 康仁、
宇野 雅哉、石川 光也
（国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科）

O-2-4

広汎子宮全摘出術における第4腔の検討

鵜飼 真由、柴田 莉奈、加藤 幹也、村井 健、小鳥遊 明、
森 将、稲村 達生、柴田 崇宏、原田 統子、岸上 靖幸、
小口 秀紀
（トヨタ記念病院）

子宮筋腫

座長：楠本 知行（倉敷中央病院 産婦人科）

O-3-1

Mixed realityを用いた腹腔鏡下子宮筋腫核出術に対する空間的画像手術支援

越智 良文、安藤 正明、福森 史也、下村優莉奈、榊田沙也加、
岡田 貴行、仙波 恵樹、澤田 麻里、菅野 潔、坂手慎太郎、
柳井しおり
(倉敷成人病センター)

O-3-2

子宮内腔に突出した嚢胞変性を伴う子宮筋腫に対し核出術を施行した1例

大和田真樹子¹⁾、西田 正人¹⁾、星野沙也加¹⁾、坂中 都子¹⁾、永井 優子¹⁾、
市川 良太¹⁾、新井ゆう子¹⁾、近藤 譲²⁾
(独立行政法人 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 産婦人科¹⁾、独立
行政法人 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 病理診断科²⁾)

O-3-3

子宮摘出術における全腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)と腔式子宮全摘術(VTH)の比較検討

間野ちひろ、梅木 英紀、細井 毬愛、平井 佑奈、谷田部菜月、
小野瀬萌子、桃原 祥人
(JAとりで総合医療センター 産婦人科)

O-3-4

子宮内膜アブレーションは手術を行う婦人科医の必修手技である-自験例244例の検討

井上 滋夫
(薫風会佐野病院)

性器脱

座長：古谷 健一（防衛医科大学校 名誉教授）

O-4-1

当院における経膈的腹腔鏡下膈断端挙上術の実際

富尾 賢介、大石 元、木村 圭穂、熊坂 真央、敦澤 美月、
松田香欧里、永山 嶺花、原 わかな、黒瀬 大地、井上 由夏、
緒方 佑莉、井上 双葉、中西美紗緒、高本 真弥、定月みゆき
(国立国際医療研究センター病院 産婦人科)

O-4-2

当院で行ったロボット支援仙骨膈固定術の短期成績に関する検討

伊藤 敏谷、望月 琴美、東堂 祐介、成味 恵、松家まどか、
柴田 俊章、村上 浩雄、安部 正和
(浜松医科大学 産婦人科)

O-4-3

人工真皮を用いて形成した新生腔の下垂に対し腹腔鏡下固定術を施行したMRKH症候群の1例

鎌田 泰彦、川口優里香、岡本 遼太、樫野 千明、久保光太郎、
光井 崇、増山 寿
(岡山大学病院 産科婦人科)

一般演題 5

9月30日(土) 16:20～16:50

第3会場 1F セミナールームB

教育

座長：浅田 弘法 (新百合ヶ丘病院 産婦人科)

O-5-1

当院における広汎子宮全摘術の執刀医卒後年数と短期的手術成績の関係についての検討

布施 史織、高橋 健太、鈴木 拓真、斉藤 梨紗、河野 智孝、
小川 美咲、森脇 隆太、北村 翔一、古賀 千悠、大藏 慶憲、
小林 康祐
(国保旭中央病院 産婦人科)

O-5-2

感情ことばは手術室の空気をどのように変えるのか？—こころとからだがよるこぶ術中コミュニケーション—

松本 貴¹⁾、山口 純子²⁾、相本 法慧¹⁾、天雲 千晶¹⁾、岩井 夏実¹⁾、
細川 有美¹⁾
(医療法人伯鳳会 大阪中央病院¹⁾、解説カイロプラクティック²⁾)

O-5-3

ソフト凝固の理論とその有用性についての検討

小澤梨紗子、川野さりあ、夏目 貴史、中原万里子、加藤 真弓、
棚瀬 康仁、宇野 雅哉、石川 光也、加藤 友康
(国立がん研究センター中央病院)

第1会場 (1F 講堂 (大会議室))

P シンポジウム 3

10月1日 (日) 9:00 ~ 10:40

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

会陰損傷・外陰癌・骨盤底

座長：中田 真木 (三井記念病院 産婦人科)

SY3-1

分娩時の高度会陰裂傷(3度・4度裂傷)への対応

菊地 範彦

(信州大学医学部附属病院 産科婦人科)

SY3-2

重度の陳旧性分娩時肛門括約筋損傷に対する肛門会陰形成術の治療成績

高橋 知子¹⁾、角田 明良¹⁾、田邊 裕美²⁾、三國 和美¹⁾、安倍 美紀³⁾、
須貝 朋³⁾、佐伯 静加⁴⁾、草薙 洋¹⁾

(亀田総合病院 消化器外科¹⁾、亀田総合病院 形成外科²⁾、亀田クリニック
リハビリテーション室³⁾、亀田総合病院 リハビリテーション室⁴⁾)

SY3-3

腹腔鏡下後方骨盤全摘術および広汎外陰切除を組み合わせる完全切除をなし得た外陰部腸
型腺癌の1例

川野さりあ¹⁾、加藤 真弓¹⁾、三浦穂乃果¹⁾、小川 史子¹⁾、瀧川 若¹⁾、
小澤梨紗子¹⁾、中原万里子¹⁾、夏目 貴史¹⁾、棚瀬 康仁¹⁾、宇野 雅哉¹⁾、
森谷弘乃介²⁾、金光 幸秀²⁾、有川 真生³⁾、赤澤 聡³⁾、石川 光也¹⁾

(国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科¹⁾、国立がん研究センター
中央病院 大腸外科²⁾、国立がん研究センター中央病院 形成外科³⁾)

SY3-4

シミュレーターを用いたトレーニングを行った翌日に遭遇し、修復することができた4度会
陰裂傷の一例

後藤 裕磨^{1,2)}、古田 賢²⁾、當瀬ちひろ²⁾、大富 正子²⁾、古田 祐美²⁾、
土井宏太郎¹⁾、永井 公洋³⁾、桂木 真司¹⁾

(宮崎大学医学部附属病院 産科・婦人科¹⁾、国立病院機構都城医療セン
ター 産婦人科²⁾、宮崎市郡医師会病院 緩和医療科³⁾)

SY3-5

産科的骨盤底損傷と骨盤底支持不全

中田 真木

(三井記念病院 産婦人科)

P 特別講演 4

10月1日 (日) 10:40 ~ 11:30

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

座長：齋藤 豪 (札幌医科大学 産婦人科学講座)

SL4

骨盤底の構造について:我々の教室の研究より

秋田 恵一

(東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野)

総会

10月1日(日) 12:40～13:00

第1会場 1F 講堂(大会議室)

P 要望講演 2

10月1日(日) 13:10～14:10

第1会場 1F 講堂(大会議室)

座長：平松 祐司(岡山市立総合医療センター 産婦人科)

RL2

がんとこころ～死を意識した患者と向き合うために～

清水 研

(がん研究会有明病院 腫瘍精神科)

P 特別企画

10月1日(日) 14:20～15:35

第1会場 1F 講堂(大会議室)

CST セッション

座長：寺井 義人(神戸大学 産科婦人科)

SP-1

カダバー・サージカル・トレーニングと解剖学教室

秋田 恵一

(東京医科歯科大学大学院 臨床解剖学分野)

SP-2

日本における CST の現状、産婦人科 CST における役割

玉手 雅人、松浦 基樹、長尾沙智子、黒川 晶子、秋元 太志、
幅田周太郎、齋藤 豪

(札幌医科大学 産婦人科学講座)

SP-3

開腹から腹腔鏡、そしてロボット手術～CSTをどのように活かすか～

小松 宏彰

(鳥取大学医学部附属病院)

SP-4

臨床医が解剖学的研究を行うことは、実際の手術にも、研究にもメリットがある

近澤 研郎^{1,2)}

(自治医科大学附属さいたま医療センター¹⁾、東京医科歯科大学 臨床解剖学分野²⁾)

SP-5

海外で初めて経験し感じた CST(Cadaver Surgical Training)の必要性

宮本 真豪

(埼玉県立がんセンター)

特別講演 5

10月1日(日) 15:35～16:00

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

座長：加藤 友康 (国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科)

SL5

Latzkoと岡林手術の再構築

矢吹 朗彦

(金沢医科大学 産婦人科)

閉会の挨拶

10月1日(日) 16:00～16:10

第1会場 1F 講堂 (大会議室)

第2会場 (1F セミナールーム A)

会長企画 2

10月1日(日) 9:00 ~ 9:50

第2会場 1F セミナールーム A

他科に学ぶ

座長：岡本 愛光 (東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座)

PP2-1

AIを用いた情報支援下内視鏡手術がもたらす未来像

伊藤 雅昭

(国立がん研究センター東病院 大腸外科)

PP2-2

肝授動の基本操作と横隔膜切除

伴 大輔

(国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科)

会長企画 3

10月1日(日) 9:50 ~ 10:40

第2会場 1F セミナールーム A

傍大動脈リンパ節郭清に備えて

座長：三上 幹男 (東海大学医学部専門診療学系 産婦人科学)

PP3-1

解剖体を用いたリンパ管・胸管の肉眼解剖

衣袋 健司¹⁾、秋田 恵一²⁾

(日本大学医学部 放射線医学分野¹⁾、東京医科歯科大学 臨床解剖学²⁾)

PP3-2

術中血管損傷対応のTipsと、今、求められる外科医教育—心臓血管外科医の立場から

中原 嘉則

(イムス葛飾ハートセンター 心臓血管外科)

一般演題 6

10月1日(日) 11:00 ~ 11:20

第2会場 1F セミナールーム A

分娩関連

座長：菊地 範彦 (信州大学医学部附属病院 産科婦人科)

O-6-1

臍上皮膚切開アプローチを要した帝王切開の二例

内田 季之、大山 千恵、望月 琴美、川合 健太、松本 雅子、
幸村友季子、磯村 直美、田村 直顕、鈴木 一有、伊東 宏晃
(浜松医科大学)

O-6-2

潰瘍性大腸炎によるストーマ造設後妊婦の帝王切開術2例

佐藤 貴紀、齋藤 珠帆、寺田 幸、川村 花恵、羽場 巖、
岩動ちず子、小山 理恵、馬場 長
(岩手医科大学 産婦人科学講座)

美しい手術

座長：大須賀 穰（東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学講座）

きれいな子宮全摘に必要なもの

中村 浩敬

（独立行政法人都立病院機構東京都立多摩総合医療センター 産婦人科）

リスクを考えた帝王切開術

水主川 純

（東京女子医科大学 産婦人科学講座）

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

今ある外科教育に立ちはだかる問題点
—様々な立場からの検討—

座長：藤原 聡枝（大阪医科薬科大学 産婦人科）

宇佐美知香（愛媛大学大学院医学系研究科 産科婦人科学講座）

PD2

パネリスト：磯部 真倫¹⁾、齊藤 和毅²⁾、志鎌あゆみ³⁾、竹内 佳織⁴⁾、永易 洋子⁵⁾、
古澤 啓子⁶⁾

（岐阜大学 産婦人科¹⁾、東京医科歯科大学 産婦人科²⁾、筑波大学 医学
医療系産科婦人科³⁾、筑波メディカルセンター病院婦人科⁴⁾、大阪医科薬
科大学 産婦人科⁵⁾、静岡がんセンター⁶⁾）

第3会場 (1F セミナールーム B)

一般演題 7

10月1日(日) 9:50 ~ 10:50

第3会場 1F セミナールーム B

ロボット

座長：馬場 長 (岩手医科大学 産婦人科学講座)

O-7-1

ロボット子宮全摘術における、基靭帯2段階切離の有用性

大木 規義、柴田 直輝、津田洋之介、長澤 佳穂、伊賀川奨太、
苔原つばさ、二木ひとみ、吉武壮生舜、北 采加、北井 沙和、
城 道久、稲垣美恵子、村越 誉、吉田 茂樹
(愛仁会 千船病院)

O-7-2

RESAを最大限生かしたロボット支援手術の実践

棚瀬 康仁、三浦穂乃果、小川 史子、瀧川 若、川野さりあ、
夏目 貴史、藤井えりさ、小澤梨紗子、中原万里子、加藤 真弓、
宇野 雅哉、石川 光也、加藤 友康
(国立がん研究センター中央病院)

O-7-3

hinotoriを用いた婦人科ロボット支援手術

長尾沙智子、松浦 基樹、黒川 晶子、玉手 雅人、秋元 太志、
諸井 明仁、齋藤 豪
(札幌医科大学 産婦人科)

O-7-4

ロボット支援手術を円滑にするノンテクニカルスキルの改善

吉越 信一、草開 妙、小幡 武司、炭谷 崇義、南 里恵、
飴谷 由佳、谷村 悟
(富山県立中央病院)

O-7-5

助手ポートを使用しない等間隔4ポートロボット支援下子宮全摘術の有用性の検討

鈴木 二郎^{1,2)}、松崎 敬彦¹⁾、下舞和貴子^{1,2)}、芦澤 直浩³⁾、柳田 聡²⁾、
伊東 宏絵⁴⁾、岡本 愛光²⁾、井坂 恵一¹⁾
(東京国際大堀病院 婦人科¹⁾、東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座²⁾、
明理会東京大和病院 婦人科³⁾、東京医科大学 産科婦人科学教室⁴⁾)

O-7-6

高難易度手術を見据えたダブルバイポーラ法を用いたロボット支援下手術

美坂 聡樹、佛原 悠介、吉満 輝之、伏木 淳、菅野 素子、
青木 洋一、阿部 彰子、根津 幸穂、尾身 牧子、谷川 輝美、
岡本三四郎、温泉川真由、金尾 祐之
(がん研有明病院)

卵巣癌

座長：田畑 務（東京女子医科大学 婦人科）

O-8-1

当院における腫瘍減量術の安全性の検討

伊東 史学、中谷 真豪、黒瀬 苑水、福井 寛子、竹田 善紀、
新納恵美子、谷口真紀子、喜多 恒和、佐道 俊幸
(奈良県総合医療センター)

O-8-2

術前化学療法後に下大静脈を離断し、右腎合併切除で完全摘出できた晩期再発卵巣顆粒膜細胞腫の一例

矢幡 秀昭¹⁾、岡部 安博²⁾、蜂須賀一寿¹⁾、友延 寛¹⁾、前之原章司¹⁾、
小玉 敬亮¹⁾、八木 裕史¹⁾、安永 昌史¹⁾、小野山一郎¹⁾、浅野間和夫¹⁾、
中村 雅史²⁾、加藤 聖子¹⁾
(九州大学 産科婦人科¹⁾、九州大学 臨床・腫瘍外科²⁾)

O-8-3

卵巣がんに対する腹腔鏡下骨盤および傍大動脈リンパ節郭清術の安全性についての検討

松本 剛史、近藤 英司、綿重 直樹、岡本 幸太、金田 倫子、
吉田 健太、池田 智明
(三重大学医学部附属病院)

O-8-4

骨盤内孤立性線維性腫瘍に対して、術前放射線治療を施行し、子宮温存、腫瘍完全切除が可能であった一例

綿重 直樹^{1,2,3)}、近藤 英司¹⁾、川村 幹雄²⁾、豊増 泰³⁾、前沢 忠志¹⁾、
岡本 幸太¹⁾、金田 倫子¹⁾、高橋 和哉¹⁾、中尾 莉子¹⁾、砂田 希美¹⁾、
松本 剛史¹⁾、二井 理文¹⁾、吉田 健太¹⁾、池田 智明¹⁾
(三重大学医学部附属病院 産婦人科¹⁾、三重大学医学部附属病院 消化器外科²⁾、三重大学医学部附属病院 放射線科³⁾)

進行卵巣がん治療に関するトピックス

～卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌取扱い規約改訂のポイントを含めて～

座長：万代 昌紀（京都大学 婦人科学産科学分野）

安彦 郁
(京都医療センター 産科婦人科)

共催：アストラゼネカ株式会社

合併症

座長：寺尾 泰久（順天堂大学 産科・婦人科）

O-9-1

卵巣癌傍大動脈リンパ節郭清術後に乳糜胸水を発症した1例

海老沢桂子、村岡 純輔、草西多香子、糸井 瑞恵、井尻 美輪、
鈴鹿 清美、田中 尚武
(千葉県がんセンター 婦人科)

O-9-2

卵巣・卵管癌における傍大動脈リンパ節郭清術後に乳糜胸水を生じた2例

藤井えりさ、加藤 真弓、棚瀬 康仁、宇野 雅哉、石川 光也、
加藤 友康
(国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科)

O-9-3

子宮鏡下粘膜下筋腫核出術に際し子宮穿孔・小腸損傷を来した一例

前田振一郎、三木 通保、金澤 怜佳、山田野々花、三木麻紗与、
元山 貴仁、吉村佳与子、荻野 敦子、川口 雄亮、山添紗恵子、
松林 彩、林 信孝、田邊更衣子、大竹 紀子、青木 卓哉
(神戸市立医療センター中央市民病院)

O-9-4

腹腔鏡下子宮全摘術における膀胱損傷の頻度、リスク因子、損傷原因の考察

福森 史也、仙波 恵樹、下村優莉奈、岡田 貴行、越智 良文、
菅野 潔、柳井しおり、澤田 麻里、坂手慎太郎、安藤 正明
(倉敷成人病センター)

O-9-5

外陰癌治療後の骨盤臓器脱に対する前後脛壁形成に合併した外陰膿瘍

石橋ますみ¹⁾、徳永 英樹¹⁾、清水 孝規¹⁾、渋谷 祐介¹⁾、重田 昌吾¹⁾、
島田 宗昭^{1,2)}
(東北大学 産婦人科¹⁾、東北メディカルメガバンク機構²⁾)

O-9-6

前方骨盤除臓術後の排便障害

西山 大喜、北村 幸子、砂田 真澄、滝 真奈、山ノ井康二、
村上 隆介、堀江 昭史、山口 建、濱西 潤三、万代 昌紀
(京都大学 婦人科学産科学)